



あまごい森



令和5年7月13日(木)

発行者 宮里 秀樹



教育目標

〇よりよく考え進んで学習する子 〇心豊かで思いやりのある子 〇体をきたえ最後までやりぬく子

学校では毎月1回、校長講話を実施しています。講話とはいっても、その時々校長が感じたことや子どもたちに考えてほしいことを、思いつきで話しています。先月は「あいさつ」、今月は「努力すること」のテーマで話しました。子どもたちはどの程度感じ取ってくれているかはわかりませんが、ありがたいことに静かに聞いてくれました。ご家庭でも、ひとつ話題にしてくれればと思います。

裏面には、先月よりはじめたご意見箱について記載しています。3件の投書がありました。できる限り回答したいと考えていますので、お気軽にご意見を下さい。

校長講話

2023. 7. 12

「努力すること」



最初に、5年生の〇〇〇さんのピアノの演奏を聴いてもらいました。〇〇〇さんは、3月に行われたサクラ・ジャパン・ミュージック・コンペティションというコンクールでピアノ部門で見事、第1位になったそうです。とても素晴らしい演奏でしたね。

〇〇〇さんは2歳のころからピアノを始めたそうです。はじめたきっかけはお母さんがピアノ教室の先生で、また、おじいちゃん、おばあちゃんも音が好きで、よく家でも弾いていたからだそうです。ピアノを毎日、4～5時間、どんなに忙しい日でも欠かさないように練習を続けています。

毎日続けることで今では、誰もまねのできないくらい上手に弾くことができるようになりました。

ちなみに、2歳のころから毎日5時間の練習を続けると15000時間にもなります。毎日、続けることって大変なことなんですね。

今日は、一人のアスリートを紹介したいと思います。

水泳の池江璃花子選手です。池江選手は東京オリンピックに日本代表として出場し、これから始まる世界水泳にも出場します。日本だけでなく、世界のトップの選手でした。でしたという言葉を使いましたが、実は池江選手のスポーツ人生はけっして順調ではありませんでした。

16歳のときに出場したリオオリンピックの活躍で、誰もが東京オリンピックの池江選手の金メダルを期待していました。そんなとき、東京オリンピック直前の2019年、大病である白血病にかかってしまいました。その後、大変な治療を続け、体重は一時約15キロも落ちたそうです。誰もが池江選手の復活は無理だと思う中で、それでも池江選手はあきらめず、苦しいリハビリを続けました。「東京は無理でも、その次のパリのオリンピックには間に合う」そう信じて。そして、なんと、目標としていたパリのオリンピックではなく、自国開催の東京五輪の切符をつかむことができました。お医者さんの話によると「退院後、1年余りでトップアスリートの域まで回復するのは極めて異例だ。本人の並々ならぬ努力があったからだろう。」と話していました。

池江選手はレース後のコメントで、「自分が勝てるのは、ずっと先のことだと思っていた。すごく辛くて、しんどくても、努力は必ず報われるんだなと思った。」と涙を流しながら語っていました。

「努力は必ず報われる」。強い意思をもって頑張り続けた池江選手だからこそ、いうことのできた言葉でしょう。

皆さんにも、それぞれがんばっていることがあるはずです。学校の勉強や水泳、サッカー、ピアノ、習字などです。「テストで100点を取りたい」「もっと上手になりたい」「試合に勝ちたい」と思って、目標をもって頑張ってください。頑張り続けてください。そうすればきっと、「努力が報われる」日があるはずです。校長先生も応援しています。

今日の校長講話は「努力すること」についてでした。



ご意見箱より — ご意見、ありがとうございました。 —

貴重なご意見、ありがとうございました。

質問に関しては、できるかぎり回答いたします。どのようなないようでもかまいませんので、お気軽にご記入ください。（※内容によっては回答できない場合もあります。）

今回は3件のご意見がありました。うち、2件について回答します。



○いつもお世話になっております。

子どもが毎日楽しそうに学校へ通う姿に嬉しく思います。

学校だよりやHP等で、学校の様子をごまめに知らせてくれるのでありがたいです。

また、保護者の意識調査もしてくれるので、学校の対応がとても丁寧に感じます。

これからもよろしく願います。

- 保護者向けアンケート、素晴らしい取り組みだと思えます。**せっかく素敵な活動ですので、ぜひ、校内紙だけではなく、他の情報と同じく、「学校ホームページ」「PTA ライン」「学校メール」等、大々的に広報することで多くの意見聴取できるのではないかと想定します。そうなるとアンケート集計が大変かと思いますが、学校が今以上に素敵になるような一歩だと思ひ、提案させていただきます。

ご提案、ありがとうございます。学校長としては、保護者の想いをできるかぎり学校運営に反映させていきたいと考えます。教職員と保護者の考えにズレが生じないよう、行事等についてはアンケートを実施し、意識調査を図ってまいります。アンケートの結果については、HPや学校だより等に掲載し、また寄せられたご意見についてはできるかぎり回答するつもりであります。ご意見箱は、はじめたばかりで周知が未だすすんでいないところもありますが、今後もよろしく願います。

- 通知表の所見欄の廃止を見直していただきたいです。**大切な子供の精神的な成長や現状、課題を共有し、残し、関わっていくための大切な欄だと考えているからです。ぜひ、再考をお願いいたします。（学校評価より）

貴重なご意見、ありがとうございます。ご意見についてですが、先日公文にてお知らせした通り、所見欄の記入については多大な時間を要します。しかし、学校から家庭へ伝えたいことはそれ以上に多く、枠内に記入していることはほんの一部です。作業時間に対して伝わる情報があまりにも少ないと感じています。教職員の働き方改革が叫ばれている中、学校長としては1・2学期の所見欄の廃止を決定しました。昨今の、学校現場の置かれている状況をくんでいただき、ご理解をお願いします。なお、近隣校でも同様の対応が増えていることも申し添えておきます。

ご意見お待ちしてま〜す！

※ 学校教育（行事や学校生活、学校運営に関すること）について、ご意見をお聞かせください。

ご要望やご意見、ご相談でもかまいません。

校長直通メールです。

お気軽にご連絡ください。

